

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス七つ葉		
○保護者評価実施期間	令和7年2月20日		令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年3月3日		令和7年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内は広いプレイルームがあり、屋外には運動場があるなど子どもたちが広いスペースを使って活動に取り組むことができる。	事業所内外を活用しながら体をしっかりと動かし日常生活動作に必要な筋力や友達とのルール、気持ちのコントロール力などを身につけられるよう努めている。	現在、屋外での活動が限定的であるため、屋外で取り組める活動も柔軟に取り入れながら活動を充実させていきたい。
2	固定化しない活動プログラムを実施することで様々な経験を積み重ねる中で興味、関心の幅を広げられている。	5領域の観点からも職員が様々なアイデアを出し合いながら活動内容を検討し子どもたちが興味をもって楽しみながら活動に取り組めるよう創意工夫している。	固定化しない活動を継続していきながら遊びの中で様々な物事に触れ成功体験を積み重ねていくことで自己肯定感や自己有用感を高めていきたい。
3	放デイのみではなく障がい者通所事業所も併設しており、障がいのある方との関わる場を設けることができ、多様な社会においても互いに良い刺激となっている。また障がい者通所事業所にはパン工場もあるため、パン教室などで学習・体験も取り入れることができる。	法人の祭りやイベントなどの機会には障がい児・者、家族、地域住民などが気軽に参加できるようにするなど多くの人と交流する場としている。またパン教室やお菓子作り体験なども定期的に取り入れることで子どもたちや保護者も喜んでいる。	今後も法人内のイベントなどで色んな人と交流する機会を続けていきつつ、地域のイベントなどにも出掛けて地域交流を図るなど充実を図っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の定着率の低さ	どの業界も人手不足で給与面などから他業種へ転職、働く前のイメージと実際の業務のミスマッチによる離職が考えられる。	OJT、OFJTなどの教育プログラムをより充実させていく。また職場環境の見直しなどを行いながら定着率を高めていく。
2	保護者同士のつながり	開設1年目で保護者会をどのような形で設置、運営していくのが定まらず、保護者会などの保護者同士が集まりつながりをもつ機会がなかった。	令和7年度には保護者会を設置し、保護者同士の横のつながりを確保するとともに職員との相談の場となるようにしていく。
3	地域交流	地域イベントなどに参加する機会が少なく地域交流が図れなかった。	学校休業日などに地域イベントへの参加や児童館などに出掛け、地域交流の機会を確保していく。